



H. Moser & Cie.
VERY RARE

プレスリリース

H. MOSER & CIE. (H. モーザー) がSWISS MAD WATCH (スイスマッドウォッチ) を発表：「SWISS MADE」ではないのに 100% スイス製 – HOLY COW! (聖なる牛：なんてこった！という意味を持つスラング) ノイハウゼンアムラインファル、2017年1月12日

スイスマッドウォッチは、他に類を見ない象徴的な時計で、一番重要なのは 100% スイス製だという点です。不遜ながら、これが自慢です。2017年1月1日以降、時計に表示される「スイスメイド」というラベルが見直され、時計部品の 60% がスイスに出自を持たせよということになりました。この不十分なラベルの欠点を激しく批判してきたモーザー社は、真の独立系スイス時計メーカーを守るために立ち上がりました。95% 以上の部品をスイスで製造している、シャフハウゼンに本拠を置くマニユファクチュール、モーザー社から見ると、このラベルは何の保証にもならない、甘すぎるもので、制度の乱用を助長し、混乱を生み出すものでしかありません。こうした理由により、モーザー社は、2017年以降に作られるすべての新しい時計から「スイスメイド」というラベルを撤廃することに決めました。

スイスの時計メーカーが、スイスの材料を用いて、スイスで作った時計。スイスマッドウォッチは、「スイスメイド」の議論に正面から挑み、このラベルに隠された真実を暴くという、象徴的な価値を持っています。この比類ない時計によって、モーザー社は「スイスメイド」を従来の高い基準に戻すことの重要性と緊急性を、実物によって示します。「スイスメイド」の基準の馬鹿げた愚かな変更を受け、この問題に対するモーザー社からの風刺に富んだコメントの意味を込めて、100% 天然で紛れもなく完全にスイスに存在する貴重な資源の一つに脚光を当てることにしました。それは牛です。スイスマッドウォッチのケースは、金賞受賞の本物のスイスのチーズ「ヴァシュランモンドール」を基礎材料として作られています。これを革新的な複合材料 itr²® に追加してから、機械加工と研磨を施し、モーザーのサインを添えて仕上げられます。ストラップに関しては、当然ながらスイス産の牛革が選ばれました。ダイヤルはレッドフュメで、12、3、6、9 時位置にダブルインデックスを配置し、それとなくスイスの国旗が連想されるようになっていきます。こうしてできた時計は、圧倒的で、何にも媚びない、驚嘆すべき出来ばえで、完全にスイス製となっています。

挑戦的というべきでしょうか。「そのとおりです」と、モーザー社の CEO、エドゥアルド・メイランは答えます。「スイスマッドウォッチは、スイスの時計産業、権威、そして時計ファンに対し、明確なメッセージを送っています。『スイスメイド』というラベルは意味がありません。それどころか、時計産業における最悪の乱用にお墨つきを与えてしまいます。このいい加減で不十分なラベルに対する当社の答えは、嘲笑することです。モーザー社では、真のスイス時計、すなわち時計製造の伝統と数世紀にわたる経験に根ざした時計を作っています。当社の時計の品質は、誰の目にも明らかであり、ラベルは必要ありません。もはや『スイスメイド』ではなく、スイスそのものなのです。スイスマッドウォッチの場合は 100% スイス製、その他のモデルもすべて 95% 以上スイス製です」とエドゥアルド・メイランは締めくくります。

スイスマッドウォッチは、2017年1月16～20日に開催される国際高級時計見本市 (SIHH) で展示されます。これは、この比類ない時計を鑑賞する理想的な機会となります。価格は 108 万 1,291 スイスフランで、これはスイス建国の日である西暦 1291 年 8 月 1 日を踏まえたものです。この時計の販売による収入は、現在困難な経済情勢とアジアへのアウトソーシングで苦しんでいる独立系のスイス時計製造サプライヤーを支援する基金の創設のために全額使用されます。こうしたサプライヤーは、伝統的なスイスの時計製造を今に受け継ぎ、そのたえまない進化に貢献している、本当の職人たちののです。

「スイスメイド」のラベルに価値を取り戻す当社のキャンペーン – #MakeSwissMadeGreatAgain – にご参加ください。



H. Moser & Cie.
VERY RARE

プレスリリース

技術仕様 - スイス マッドウォッチ

リファレンス 8327-1400、スイスのチーズでできたモデル、レッドフェム ダイヤル、スイス産の牛革レザー ストラップ、単一モデル

ケース

複合材料 itr²® にチーズを追加

直径：42.0 mm、厚さ：9.4 mm

サファイアクリスタル

サファイアクリスタルのシースルー ケースバック

「M」で装飾されたリュウズ

ダイヤル

サンバースト仕上げを施したレッドフェム ダイヤル

ホワイトのラッカー仕上げのアプライドインデックス、燕の尾の形の時針および分針

ムーブメント

自社製機械式手巻 HMC 327 キャリバー

寸法：32.0 mm (14 ¼ リーニュ)、厚さ：4.5 mm

振動数：18,000 振動/時

29 石

パワーリザーブ：約 3 日間

歯車とカナはすべてにモーザー独自の歯型を採用

安定化したブレゲヒゲを備えたオリジナルのシュトラウマン・ヘアスプリング®

機能

時針および分針

ムーブメント側のパワーリザーブ表示

ストラップ

手縫いの牛革レザー ストラップ

モーザーのロゴが刻印されたステンレススチールのピンバックル



H. Moser & Cie.
VERY RARE

プレスリリース

リファレンス & 写真

スイスマッドウォッチ、リファレンス 8327-1400、スイスのチーズでできたモデル、レッドフェュメダイヤル、スイス産の牛革レザーストラップ、単一モデル



プレス担当

Nathalie Cobos, T +41 76 319 03 09, press@h-moser.com

H. MOSER & CIE.

H. Moser & Cie. は Heinrich Moser により 1828 年に創設されました。ノイハウゼンアムラインファルを拠点とするこのブランドは現在、50名の従業員を擁し、8つの自社製キャリバーをラインナップし、年間に1200個の時計を製造しています。H. Moser & Cie. は自社製品に使用する调速機構やヒゲゼンマイなどといった部品を自社内で製造する希少なマニファクチュールです。それらの部品はパートナーの企業にも供給されています。H. Moser & Cie. はモーザー家の人間を名誉会長とし、Heinrich and Henri Moser 基金の代表に迎えるという荣誉に浴しています。Heinrich Moser の子孫たちに設立された Moser 基金は、一族の歴史を維持するために機能しており、Heinrich Moser 家が住まうシャルロッテンフェル城に併設の Moser 博物館に収蔵すべき昔のモデルの収集といった役目も担っています。時計製造に関するノウハウとこの分野での専門技術に裏打ちされた MELB Holding は H. Moser & Cie. と Hautlence という企業を擁するに至っています。MELB Holding は伝説的なジュウ溪谷を拠点とする家族経営の独立系グループです。